

情熱あふれる ふるさと 青森づくり

県民だより

あおもり

12月号 No.130
2011

編集発行／青森県広報広聴課

平成23年12月1日発行（偶数月1日発行）

| | |
|--|------|
| 特集 救急医療・脳卒中対策 | P1~2 |
| 除雪作業にご協力を! | P3 |
| 東北新幹線全線開業1周年・申吾のほっとコラム | P4 |
| 青森・ソウル便の利用促進・ホットアップルジュースで体も心もホットに・情熱レポート | P5 |
| 地球温暖化防止・陸奥湾ほたてがい産業の再生 | P6 |
| 親子に優しい街づくり・人事行政の概要 | P7 |
| インフォメーション | P8 |



普段の生活習慣を見直して
みませんか？早めの受診と
治療で、脳卒中は防げます。

青森県立中央病院脳卒中ユニットの皆さん

A. Q. 脳卒中に
からないためには？

青森県はビールの消費量が
全国2位です。糖尿病の罹患率は全国2位。
運動不足度は全国5位となっています。
このような生活習慣が複合的に働いて、
脳卒中死亡率全国1位となっています。
お酒を控える、禁煙、適度な運動、肥満
防止、高血圧の予防と治療、糖尿病の管
理など、日々の生活習慣を見直し改善
することが大切です。

A. Q. 青森県立中央病院
脳卒中ユニットとは？

青森県は脳卒中による死亡率が全国1位で、早急な対策が求められています。そこで県病では脳卒中を含めた脳神経疾患を各診療科が協力して診療にあたることを目的に、2008年、脳神経センターを開設しました。

脳卒中ユニットは、脳卒中のなかでも、急性期の患者さんの診療にあたる施設です。急性期、回復期、維持期と患者さんの回復過程に応じてより適切な医療を提供できるよう、地域連携バスを用いたり、地域の医療機関と連携しながら取り組んでいます。

A. Q. 県民の皆さんへ
メッセージを！

まず、脳卒中の症状を正しく理解すること、そして、万が一脳卒中が疑われる場合は、すぐに病院に行くことが重要です。脳卒中は発症する時は突然ですが、じわじわと時間をかけて進行することもあります。高齢者に限らず、40代、50代の働き盛りの方も発症することもあります。家族のために自分のために、生활習慣を見直し病気を未然に防いで、健

A. Q. 脳卒中の症状は？

脳卒中のチェックポイントの頭文字と、「Time（時間）」の頭文字を取った「FAST（素早く行動しよう）」という言葉があります。脳卒中が疑われる場合は、次の3つをチェックして下さい。

「Face（顔）」が歪んでいないか。笑顔が作れるか。「Arms（腕）」「Speech（話す）」両手を前に出し、片方の腕だけ下がって来ないか。突然、それつが回らなくなったりなどの異常はないか。「Time」これらの症状が1つでもあれば、まれば脳卒中である可能性が高いので、時間を記録してすぐに救急車で病院へ！

また、脳卒中の前触れ症状（一過性脳虚血発作）は5、6分で治まる場合もありますが、この場合も油断は禁物！すぐに病院で検査を受けましょう。前触れ症状の段階で早期に治療すれば、かなりの確率で脳卒中に至ることを防ぐことができます。

返上しよう
脳卒中日本一